

# 地域・学校協議会の活動推進キャッチフレーズ

南越前町立 河野小学校

## 1 取り組みの概要

### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	6回 (のべ) 6日

### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	22人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	20人
登下校支援ボランティア	105人
その他 (家庭教育・青少年育成等)	6人

### (3) 特色ある活動

テーマ 「ふるさと教育」

#### 具体的活動内容

##### ①梅もぎ体験

6月29日に今年初めての試みで、南越前町の4つの小学校の3年生全員が、河野地区の特産物である「梅」の収穫を体験した。その後の交流会では、本校の3年生が「河野の梅」と題し、料理法や出荷先等を紹介し、「河野の歴史や史跡」についても発表した。



##### ②だしじゃこづくり

本校の毎年恒例のふるさと学習行事で、3、4年生が7月12日に実施した。作業としては、早朝に獲れたばかりの小魚を鍋で煮て、網に広げ、食べごろになるまで天日干しをする。講師の方から、箱一杯の魚の種類を聞き、多くの魚が混ざっているのと、イカやタコの赤ちゃんがいるのに歓声をあげていた。このだしじゃこづくりは、8月の丹南ブロックへき複児童交流会でも行い、本校の4年生が講師役を努め、作り方を伝授した。

##### ③小中合同海岸奉仕作業

8月10日に、河野中学校と合同で、小学1年から中学3年までの縦割り班で、河野地区の3つの海水浴場の清掃奉仕を行った。7月20日には小・中合同で事前打合せ会を開き、グループごとに活動の目当てや役割分担を確認した。当日は、中学生がリーダーとなり、上手に小学生をリードする場面が数多くあり、河野小・中学校の良き伝統行事として、今後も継続していきたい。



##### ④親子ふるさとエンジョイウォーク

今年のコースは、めだかの学校から糠海水浴場までの約8kmで、河野漁港やマリパークの敷地の中など普段通れないところも見学した。1年から6年の縦割り集団で、親子と一緒に歩いた。河野の自然を満喫した一日であった。



##### ⑤河野の歴史調べ

毎年、5年生が河野の史跡 (右近家・下長谷洞窟・十九社神社・関東艦遭難のレリーフ等) を実地検証し、パンフレットや模造紙にまとめている。今年、しおかぜ集会 (学習発表会) で「関東艦遭難の史実」を劇にして発表した。5年生全員で台本やシナリオを作り、迫真に迫る演技で聴衆を魅了した。

#### 成果と課題

小規模校の特性を活かし、地域・家庭・学校が連携して、子どもを育てていく体制ができつつある。今後も「ふるさと・河野」を重視した体験活動を増やしたり、地区の青少年育成団体等と連携していきたい。